

平成22年度 行財政再生シート

NO. 8-3

項目名	観光施設	事業名	廻船問屋瀧田家管理運営事業
担当部	環境経済部	担当課等	商工観光課

この事業に係る費用を市民一人あたりに換算すると **94** 円 です。

※事業費（平成22年度予算額）を人口5万5千人で除した額

1. 事業の目的・概要等

(1) 事業の目的	・ やきもの散歩道の観光振興及び地域の活性化並びに市の歴史の保存を図る。			
(2) 事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成12年4月竣工。敷地 2,668㎡、建物 6棟（うち3棟市指定文化財） 江戸時代末期（1850年頃）、廻船業の瀧田家を復元整備 企画展やイベント、協賛事業、付属施設（離れ等）の一般貸出を実施 入館料 300円（中学生以下 無料） 平成21年4月から、常滑市観光協会常滑支部が指定管理者 			
(3) 実施・運営方法		1. 市が直接実施・運営		
	○	2. 外部へ委託または指定管理	委託先等	常滑市観光協会常滑支部
		3. 団体等への補助金により実施	実施主体	
		4. その他（ ）		
(4) 実施期間など	開始年度	平成12年度	終了予定年度	なし
(5) 根拠法令など	常滑市廻船問屋瀧田家の設置及び管理に関する条例			
(6) 近隣市町・類似団体等の状況	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者：知多市「梅の館」 直営：美浜町「食と健康の館」 民間団体：大府市「げんきの里（JA）」、南知多町「豊浜魚ひろば(組合)」、武豊町「ぎやらりい夢乃蔵(民間)」 			

2. 事業費の推移

(千円)

-		H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	
支出	事業費	4,456	4,672	4,500	4,500	
	人件費※	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
		人件費	800	780	690	690
		再任				
	人件費	0	0	0	0	
	臨時					
人件費	0	0	0	0		
支出計		5,256	5,452	5,190	5,190	
財源	国・県支出金					
	地方債					
	その他（ ）					
	一般財源	5,256	5,452	5,190	5,190	
市民1人あたり(円)★		96	99	94	94	
投資事業費	全体事業費		~H22末見込	H23以降	進捗率	
	うち一般財源		うち一般財源	うち一般財源	(H22末見込)	

※人件費の算出単価 ・正規職員 : H19/8,000千円、H20/7,800千円、H21/6,900千円、H22/6,900千円
 ・再任用職員 : H19/2,900千円、H20/2,800千円、H21/2,600千円、H22/2,400千円
 ・臨時職員 : H19~H22/1,000千円

★支出計を人口55,000人で除した額

3. 事業実績・計画と成果等

	H19実績	H20実績	H21実績	H22計画
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 入館者数 13,914人 利用料金 3,224,200円 企画展(主屋2階)瀧田あゆちと日本航空 イベント 周年記念呈茶サービス(164人)、新春ぜんざいサービス(213人) 協賛事業 産業観光スタンプラリー、名鉄ハイキング、とこなめ秋まつり、椿展、とことこバス等 付属施設(離れ)使用 アマプロフォト(写真展示)、雑誌「和照」(写真撮影)、椿展 	<ul style="list-style-type: none"> 入館者数 16,820人 利用料金 3,786,000円 企画展(主屋2階)10代前半の瀧田文彦少年 イベント 周年記念呈茶サービス(153人)、新春ぜんざいサービス(207人) 協賛事業 産業観光スタンプラリー、名鉄ハイキング、とこなめ秋まつり、椿展、とことこバス等の事業 付属施設(離れ)使用 世界体操大会参加者へ呈茶サービス 	<ul style="list-style-type: none"> 入館者数 15,703人 利用料金 3,569,100円 企画展(主屋2階)明治大正期の常滑～瀧田家に伝わる文書・作文から～ 自主イベント 周年記念呈茶サービス(175人)、新春ぜんざいサービス(206人) 協賛事業 産業観光スタンプラリー、あっちべたこっちべたフェスタ・スタンプラリー、とことこバス等 施設利用 イベント(フィールドトリップ、常滑高校作品展示、愛知アートの森) 離れ(弁当事業、吟行会) 石積部屋(版画展) 	<ul style="list-style-type: none"> 企画展(主屋2階)「瀧田英二と郷土研究」 自主イベント 周年記念サービス(ほとくれ餅プレゼント)、新春ぜんざいサービス 協賛事業 関係団体の事業に協賛、協力。 施設利用 離れ、石積み部屋、芝生広場、土管坂休憩所をイベント、展示会等に活用。 離れを活用した弁当事業の実施
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度、愛知アートの森美術展は高く評価され集客に寄与。 やきもの散歩道の陶磁器会館から登窯広場までの中間に位置し、身障者トイレも完備、休憩場所として重要な役割を担う。 減少傾向にあったが、マスコミ等で取り上げられ、20年度は増加。 保有資料による企画展、各種イベント、廻船弁当でのおもてなし等、新企画で入館者の増加に努めている。 			

4. 事業の必要性

3	チェック数	法定等の実施義務がある	緊急度が高い	類似(代替)事業が存在しない
		実施目的が未達成である	政策・施策の中で優先度が高い	受益者が多く市民ニーズが高い
		市以外では実施不可能である	継続しなければ効果が表れない	市長の公約に掲げている
必要性	廃止・凍結・休止・先送りした場合の影響	<ul style="list-style-type: none"> 市指定有形文化財である「瀧田家」を公開できなくなり、折角の休憩室やトイレも利用できず、市最大の観光スポットであるやきもの散歩道の魅力、サービスに重大な影響を生じる。 		
	想定される代替事業	○	なし	-
		市既存事業の活用	市(担当課)	
			既存の事業	
民間事業の活用	想定事業主体			
	代替事業			

5. 事業の自己評価(今後の方向性・課題など)

<ul style="list-style-type: none"> 本施設は、江戸中期の町屋形式を踏襲した歴史的・文化的にも非常に価値の高い建物。 継続して公開し、来訪者に常滑の160年前当時の廻船の歴史を伝えていくことが重要。 施設を芸術家等の企画展示スペースとして利用することで、芸術的な価値を生み出すことも可能。 今後は、地産地消の廻船弁当も加わり、魅力的で感動に出会える瀧田家として、リピーターの増加を図っていく考えである。
